



忍路

教育目標

かしこく
やさしく
たくましく

令和6年7月22日
忍路中央小学校
忍路中学校
学校だより4号



「探検・冒険」

校長 本庄 有希子

本校は、教育目標である『やさしく』から、忍路だからできる「ふるさとキャリア教育」に取り組み、一人一人の個性を大切にしながら、自己肯定感や思いやりなど豊かな心の育成を図っています。

今学期、中学校では、縄文人の暮らしを考えながら硬い土をこね、縄文土器を作りました。小学校では、ケーキを地層に見立て、発掘の疑似体験をし、地層から時代を読み取る学習をしました。また、5・6年生は忍路・蘭島の小径を楽しみながら歩くフットパスも行いました。その他にも、小中合同で潮ねりこみ講習会、蘭島海水浴場の海浜清掃なども行いました。歴史的な文化財が多くあり、海・川・山と自然にあふれ、これらを伝え、教えてくれる人がいる。この活動は、人、自然、歴史の全てが揃った、忍路小中学校だからできることで、本校の教育環境のすばらしさを実感し、子どもたちの笑顔をたくさん見ることができた1学期となりました。

そして先日には蘭島川の探検を行いました。探検、冒険と言えば、「植村直己」さんという方がいます。彼は、世界最高峰のエベレストに日本人で初めて登頂し、世界初の五大陸最高峰登頂者となります。また、犬ぞり単独行として世界で初めて北極点に到達しました。しかし、冬期のマッキンリーに世界で初めて単独登頂した際に、下山中に消息不明となってしまいました。植村さんは自身の活動について聞かれ、次のように話したそうです。「冒険心を無くしては、ものは出来ないんですよ。



やっぱりこう『何かをやりたい。』という気持ちがあって人の心は動く。これに一番の幸せを感じた時には、やっぱり決行する。それが冒険家と言えるのかどうかは知らないけれど、そんなのは他人が勝手に言えば良いだけの話。本人はマイペースでやれば良いという気持ちを今では持っている。」

6月、本校の教育活動の様子をHPで見たロサンゼルス在住の中学生が、本校で学びたいとアメリカでの夏休みを利用して、体験入学に来ました。知らない日本に始めて来る。すごい探検だったに違いありません。

いよいよ長い夏休みが始まります。植村直己さんはさらに

『皆それぞれが、何か新しいことをやる、それは全て冒険だと僕は思うんです』とも語っています。

この夏休みは、どこか遠くに行く、旅行に行くだけでなく、ものを作る、課題について調べる、料理をする、動物を育てる、遊ぶなど、日常の中でもいろいろな探検ができます。様々な探検を重ね、考える力や判断力を培い、さらに豊かな心を育てていって欲しいと思います。

ちなみに・・・誰も足を踏み入れていない前人未踏の地へ調査に行くのが『探検家』

危険だとわかっている事を命がけでやるのが『冒険家』 だそうです。

標準学力調査について

4月に実施しました標準学力調査について、実施した児童生徒へ調査結果を返却したところですが、学校全体の課題と改善に向けた取組についてお知らせします。

- ・学力の個人差解消に向けて、デジタルドリルの活用や朝学習の時間を活用し、個に応じた支援を行っていく。
- ・自分の考えをわかりやすく説明出来るよう、本校の授業規律「小学校～中学校 9年間の授業の基本」に基づき、相手意識をもった発表をするよう指導する。

小中 海浜清掃

7月2日(火)に小中学校の児童生徒全員で、蘭島海岸の海浜清掃を行いました。

清掃前には蘭島海水浴場組合長の佐賀さんから、蘭島海岸の歴史を話して頂き、蘭島海水浴場は北海道海水浴場発祥の地で、過去には臨時列車が出るほど多くの人を訪れていたそうです。

前日の嵐で、砂浜には多くの海藻が打ち上げられていましたが、児童生徒の力がひとつになると、大量の海藻やごみはあっという間になくなり、きれいな砂浜になりました。



中学校 縄文の学習

7月11日(木)、小樽縄文人の会の方を講師に迎え、中学生が縄文土器づくりに挑戦しました。

3500年前に忍路に住んでいた縄文人の暮らしを考えながら作って下さいという講師の話の後、江別産出の硬い土をこね、それぞれが考えた土器を作っていました。

この土器は、後日水車プラザに展示され、素焼きで仕上げる予定です。また、縄文についての学習は12月の地域学習発表会に向けて、子どもたちが探究活動をすすめていく予定です。



150周年記念 潮ねりこみ練習

7月9日(火)に地域公開を兼ねた授業参観を行い、ふるさと学習の一環として、藤間扇玉先生を講師に迎え、潮ねりこみの練習を、保護者や地域の方と一緒に行いました。潮ねりこみの本番は27日(土)です。本番の盛り上がりを楽しみます。

いじめ調査について

6月に実施したいじめ調査について、忍路中央小学校で数件、忍路中学校では0件のいじめを確認し、いじめ解決に向けて取り組んでいます。

今後も子どもたちが安心できる学級づくりと学校づくりに努めていきます。

小学校 地域学習

7月5日(金)に小学校の児童5・6年生が、フットパスを行いました。北海道ボランティアレンジャー協議会の北島さんらが講師となり、忍路、蘭島の小径を歩き、史跡や自然について学びました。

7月12日(金)には自然教育促進会の安原さんを講師とし、小学生が蘭島川の生き物調査を行いました。足で川底をふみ、網を使ってエビやドジョウ、ウキゴリなど多くの生物を捕り、地域の自然の豊かさについて学んでいました。

講師の協力と忍路・蘭島の豊かな教育資源があることで、子どもたちは改めて地域の良さを学ぶ良い機会となりました。



小中 エアコン工事

昨年度、小樽市では、すべての小中学校の普通教室にエアコンを設置することが決まり、本校も、本格的な工事が終了しました。

参観日やテストの日程変更、授業中の工事音、教室の移動等のご迷惑をおかけしました。設置工事も終わり、昨年度の猛暑を考えると、子どもの学習環境が改善されたと思います。2学期からは安心して登校してください。

学校閉庁日について

夏季休業中の学校閉庁日は、学校への緊急連絡先は小樽市教育委員会となりますので、ご確認をお願いします。

小樽市教育委員会(代) 32-4111
学校閉庁日 8月10日(土)、11日(日)、
12日(月)、13日(火)、
14日(水)、15日(木)

水産資源の保護について

夏季休業中には海のレジャーを楽しむ機会もあると思いますが、水産資源の保護について、ご家庭でもぜひ未然防止等についてお話しください。

- ・水産資源は減少傾向にあること
- ・水産資源の増殖事業を実施していること
- ・密漁等は許されないこと